

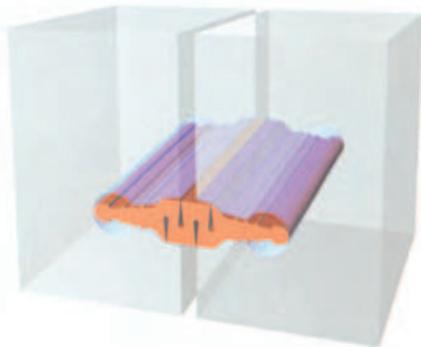
TSKJ 工法

TSKJ 工法のジョイントメカニズム

TSKJ 工法とは耐震性 (T)、止水性 (S)、可撓性 (K) の性能を有し、トータルコストを低減する経済性に優れたジョイント (J) 工法の総称です。

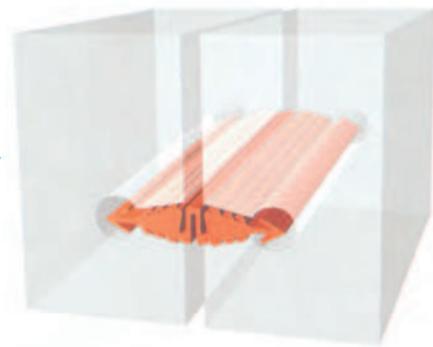
止水システム

TOP グレード



構造的には、あらかじめコンクリートブロックの接合面に挿入孔を設け、その挿入孔に樹脂を充填して、ジョイントゴムシールを挿入し、コンクリートブロックを一体化させます。

NEW グレード



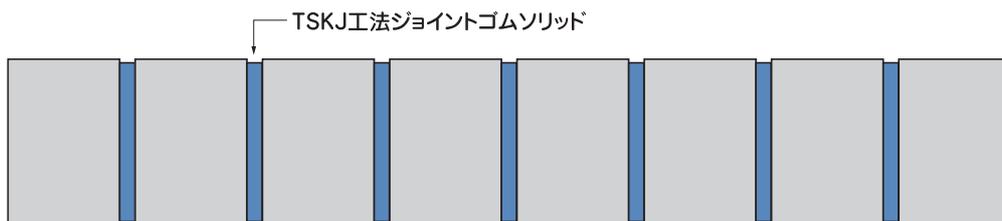
コンクリートブロックの接合面の開穴部に、ジョイントシール材の先端係止部を圧挿入し、矢形が開くことにより、開穴部に係止されます。止水性能は、リップが圧着部にフィットし確保され、耐震性、可撓性はジョイントシール材、中央の可撓性により、伸縮自在となり保持されます。

柔結合で完全止水

地盤の永久ひずみに対応する可撓ジョイントシステム

原 理

コンクリートブロック毎に可撓ジョイントシールゴムを配置して、地盤の流動化並びに地盤の不同沈下等に対して全接続部がフレキシブルに追従するシステム。

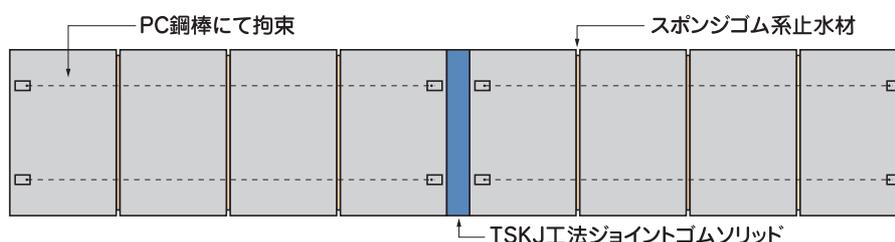


TSKJ工法ジョイントゴムソリッド

地震動による管路軸方向の遊間に対応する可撓ジョイントシステム

原 理

PC 鋼材で連結されたコンクリートブロック数函体区間毎に可撓ジョイントシールゴムを配置併用することにより、レベル 1 地震動に対応することができる軸方向可撓性を有するシステム



PC鋼棒にて拘束

スポンジゴム系止水材

TSKJ工法ジョイントゴムソリッド

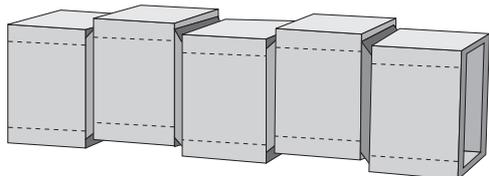
多様なニーズに応える2つのグレード

ボックスカルバートからU字溝まで様々な用途に対応します。

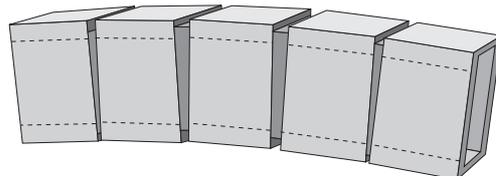
特長

耐震・可撓性

ブロックのジョイント部に可撓継手を設けていますから、地盤の変化に追従し、過大な変形（最大地盤歪み2%）をも吸収できます。



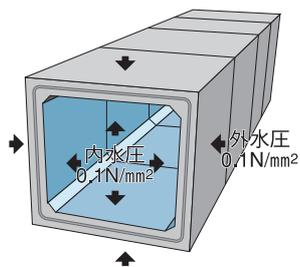
不同沈下



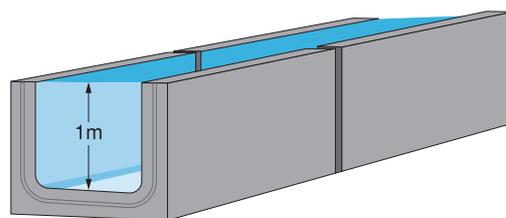
浮き上がり

止水性

TOP グレード 止水性能 $0.1\text{N}/\text{mm}^2$

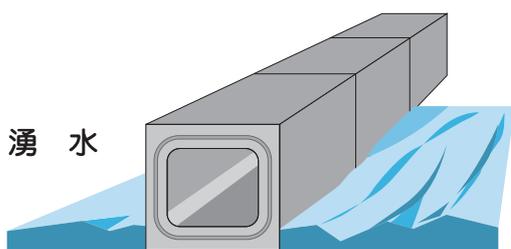


NEW グレード 止水性能 $0.01\text{N}/\text{mm}^2$
(樹脂充填の場合は $0.05\text{N}/\text{mm}^2$)

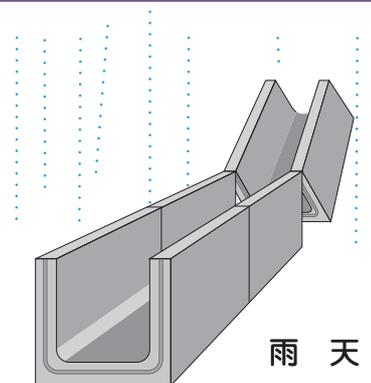


施工性

本工法は雨天や水中・湧水箇所でも場所を選ぶことなく施工できます。



湧水

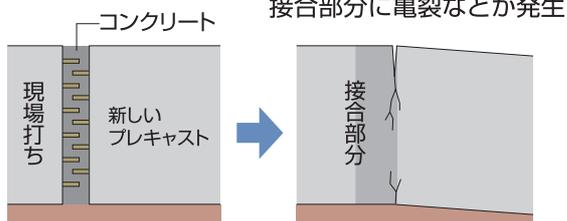


雨天

現場打ちとの接続

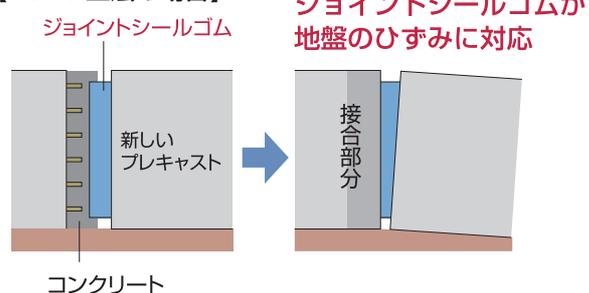
破損・亀裂の原因となっていた現場打ちとの接続も、可撓ジョイントシーリングゴムにより、外力や地盤の歪みに柔軟に対応します。

【従来工法の場合】



地盤沈下などが生じると、
接合部分に亀裂などが発生

【TSKJ工法の場合】



ジョイントシーリングゴムが
地盤のひずみに対応

充填作業は責任施工

安心をお届けする為、会員社が責任をもって目地の充填作業を行います。

TSKJ 工法 (TOP グレード) 施工手順

樹脂充填方式

1

製品据付

1 本目の製品を据え付けます。



2

樹脂練混ぜ

樹脂の軽量・練混ぜを行いコーキングガン等に充填します。



3

樹脂充填

先に据えた製品及び次の製品の TSKJ 目地溝に樹脂を充填します。



4

シール材装着

先に据えつけた製品にシール材を押しこみます。



5

製品嵌合・完了

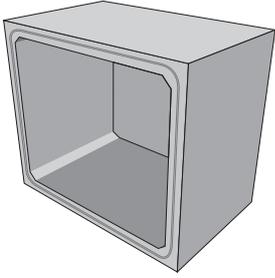
次の製品の目地溝とシール材位置を合わせ、ターンバックル等を使用して引寄せます。



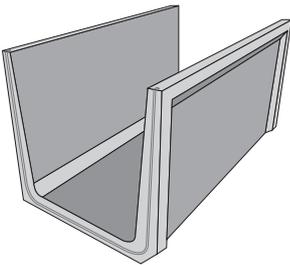
用途

場所を選ぶことなく、あらゆる環境に柔軟に対応します。

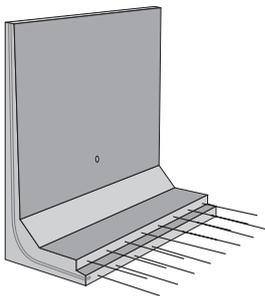
1 BOXカルバート



2 三面水路



3 L型・逆T型水路



4 その他

